

三原市久井歴史民俗資料館 vol.51

モーモー通信



7月23日（水）公開！3Dの紙芝居？！ のぞきからくりがやってきた 「のぞきからくりのヒミツ」シリーズ①

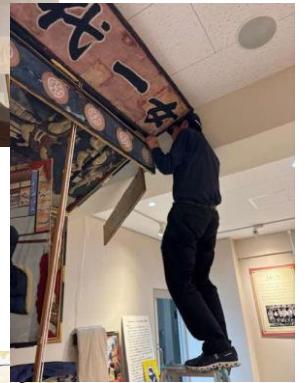


モーモー館長

みんな、「のぞきからくり」って知ってる？これまで、三原市歴史民俗資料館に
展示してあったモー。資料館が館町二丁目に移転するから、久井歴史民俗資料館
の第2展示室にお引越ししてきたんだ！この、のぞきからくりは、約100年前
の大正時代に作られて、縁日や祭りの大道芸の花形だったんだ。光とレンズ、
立体絵で見せる、絵が飛び出すように見せた紙芝居みたいなもんだ。



三原から久井へ
お引越し♪
現在準備中だよ



のぞきからくりは、令和2(2020)年、三原市の有形民
俗文化財に指定し、全装置がそろっているものは、日本に2
台しかないと言われているんだ。ちなみにもう1台は、
新潟市巻郷土資料館に展示してあるよ。もしかしたら、どこ
かの蔵なんかに眠っているかもしれないけどね。

この資料は、三原市出身の熊本米夫さんという、実際に屋台
で興行していた方から、昭和42(1967)年に三原市歴史民
俗資料館の前身である三原市立図書館に寄贈してもらったも
のだよ。まさしく「三原のお宝」だ。



寄贈を受けたときの様子
図書館前で組み立ててもらったよ。



資料館の草かり



←の写真は、平成5(1993)年に三原駅が改装されたときに、浮城ロビーでの展示を行っている様子だ。この時は全国に4、5台のぞきからくりはあって、1台新たに発見されたと、新聞にもとりあげられたんだ！

どうやって見るの？

はんえんちゅうけい はこ ばこ
半円柱形の大きな箱(ガラ箱)の中に、絵が入っていて、ひもで上からつるされているよ。独特な「からくり節」の語りで、次々と絵が入れ替わり、それを凸レンズからのぞくんだ。

りょうきん
見る料金は、昭和20年代に10円(現在の価値では200円くらい)だったよ。



←レンズをのぞくと、絵が少し立体的に見えるんだ。3D映像のルーツかもー 絵については、次号で詳しく解説～



のぞきからくりを作るには、高い技術と時間がかかったんだ。今は残っていないため価値があるのは当然だけれど、その当ても大変高価なものだった。なんと家が1軒(2千万円以上)買えたと言われているよ。復元されているものもあるけれど、今でも製作費に1千万円以上はするそう。次号は、「のぞきからくりのヒミツ」シリーズ②～しくみがすごい～だよ。



★お知らせ★ のぞきからくりは、7月23日(水)からはじまる企画展
ふるさとのおそび展～昔の子どもの世界をのぞいてみよう～で大公開！見に来てモー♪

つづきは資料館で ...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

ごあんない図

